

STAGE 2-18

仙台工場 (1号棟・2号棟)

移設／増設 稼働中

竣工 DATA

竣工年月	1987(昭和62)年10月	1989(平成元)年5月	
設計者	創元設計	創元設計	
施工者	西松建設	村本建設	
施設概要	敷地面積	9,938.17㎡	
	延べ床面積	10,910.90㎡	8,423.42㎡
	構造	RC造4階建	RC造3階建
	プラットフォーム	開放型高床式	開放型高床式
	防熱方式	外防熱	外防熱
収容能力	総トン数	16,488t	13,776t
	SF級	×	×
	セミ超	×	×
	F級	12,701t	13,776t
	C級	795t	×
	C&F	2,992t	×
	ドライ	×	×
	凍結	10t/日	×
冷却設備	施工者	日新興業	日新興業
	冷凍機メーカー	長谷川鉄工	長谷川鉄工
	主要冷凍機	高速多気筒冷凍機	高速多気筒冷凍機
	冷媒	R-22	R-22
	冷却方式	集中式・強制循環式 ・ヘアピンコイル・ ユニットクーラー	集中式・強制循環式 ・ヘアピンコイル・ ユニットクーラー
荷捌室低温化	×	×	
その他設備	ロープ式エレベーター3基	ロープ式エレベーター3基	



仙台工場1号棟〔1987(昭和62)年〕



仙台工場2号棟〔1989(平成元)年〕



北方凍魚の仕分け作業。



震災でも無事だった冷凍設備。



東北大震災復興祭

大津波をまともに受けてもビクともせず 杜の都で頑張っています！



1987(昭和62)年はたくさんの冷蔵倉庫が建ちましたが、仙台にも新しく完成しましたね。



仙台港や隣の塩釜港は、カレイ・赤魚などの北方凍魚やロシア産の鮭等の水揚げ基地で、盛漁期にはまとまった量の荷物が入荷するのだけど、老朽化した旧仙台工場では大量の荷物に対応できないので、仙台港の方へ移転したんだ。

北方凍魚はコンテナではなく、本船から水揚げされた凍魚を港で

仕分け後、冷蔵倉庫に運んでいたのだけど、品質管理が厳しくなり、港での作業だと多少は貨物が解けるため、冷蔵倉庫での仕分けが求められるようになっていったんだ。

1号棟が完成したころはまだ港で仕分けされた北洋凍魚が搬入されていた時期だったので、プラットフォームが狭くても大丈夫だったのだけど、仕分け作業が必要となったことから、2号棟ではプラットフォームを広くし、2階に専用の仕分け室を作るなどの改修工事を

頻繁に行って効率化を積極的に行ったんだ。東日本大震災では、発生した大津波をまともに受けて当時の工場長も間一髪で流されるところで、1階にあった電気設備類は全部流されたけど、冷凍機は無事だったんだ。

阪神・淡路大震災の時と同様、すぐに全国から応援の社員が集まり、また業者の方々からの協力のおかげもあって、思ったよりも早く復旧できたんだ。



これがヨコレイの強さなんですね。



ここも東京工場に引き続き日新興業が施工した冷却設備だね。冷凍機は長谷川鉄工製の高速多気筒冷凍機でR-22液ポンプ方式ヘアピンコイルだよ。